

2020年11月11日(水)

老球の細道574号

偉大なコーチ山崎先生の思い出 PART X

会津バスケットボール協会 室井 富仁

シンクロニシティ(因果はないが偶然の一致)は私の周りでよく起こる。「月刊バスケットボール」12月号では、鶴鳴学園長崎女子高校(旧鶴鳴女子高校)バスケットボール部の特集が掲載されていた。山崎先生が引退してからは、しばらく全国レベルから遠ざかっていたが最近また力をつけてきたようだ。特集記事には、伝統校が故の黄金の歴史が記され、そこに携わった山崎先生の名前も載せられていた。現在は東長崎中学校のコーチをしていることがわかった。75歳も越えた後期高齢者なのにその、いまだに現役コーチで頑張っている。さすが怪物である。

◆7月22日(水)夜

今日は午前中のみクリニック練習で、午後からはリフレッシュのスイミングレクリエーションであった。さすがにアメリカ、集中させることとリラックスさせることの飴と鞭の使い分けは絶妙であった。

午前中は例によって男子は近くの高校体育館でのクリニックである。今までやったファンダメンタルドリルの反復練習が主であった。選手の上達が目に見えてきた。環境の違い、コーチの違いが選手に普通以上の集中力を与えている。選手は変わる、変えられる。この日のクリニックで新たに FLEX のエントリーの仕方を教えてもらった。それ以後、会津高校のレギュラーオフェンスは FLEX と決めて、日本へ帰国してから徹底して練習した。

午後からはエバンズビル郊外にある公園のプールに行った。生徒たちはスイミングを楽しみ、私はもっぱら米国人の水着を眺め目の保養に精を出した。米国人女性のナイスボディに鼻血をもよおすのではないかと心配したが、私よりも先に徳島の男子生徒が鼻血を出したので、「他人の振り見てわが振り直せ」でブレーキがかり、恥をかかずにすんだ。

わが生徒たちの順応性はすごかった。「会津の三泣き」の伝統はどうしたことか。「会津人は内向きで頑固でとっつきにくい」と誰かが言っていたが、それは私のことであり、生徒たちはプールで知り合った現地の青少年達とすぐに打ち解けあい、現地のプールを会津猪苗代湖の中田浜(会津高校の合宿所がある)のごとく我が物顔で振舞っていた。しまいには自然発生的に「日米対抗ぶざま飛び込み大会」となり、見ていて笑いが止まらなかった。このプール遊びで米国遠征前半の疲れがすっかり吹き飛んでしまった。

夜はエバンズビル最大のショッピングモール街に出かけて皆でショッピングを楽しんだ。私は特に買うものもなくコーヒーを飲みながら時間をつぶした。バスでオハイオ川を渡ったが、朝だったら「オハイオー(おはよう!)」の基本的ジョークを言えたが、夜だったので沈黙。ここで、今は亡きボクシング界のレジェンド、モハメド・アリが米国の黒人差別に抗議して、ローマ五輪で獲得した金メダルを川に投げ捨てた場所であることを教えられた(川ではなく家で失くしたという説もある)。明日からいよいよ試合が始まる。〈続〉